

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	国際交流課
職	課長
氏名	戒田 由香里

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
本県の個性、持ち味を生かした「国際交流の拡大と魅力・文化の発信」による地域の活性化を図るとともに、異なる文化を互いに認め合い外国人住民と地域住民が生き生きと安心して暮らすことができる「多文化共生の促進とグローバル化への対応」に取り組む。 平成28年3月に策定した「石川県国際化推進プラン」に沿って、4つの課題に重点的に取り組む。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
①国際交流の拡大とグローバル化に対応した多文化共生の促進 石川の魅力・文化の発信による国際交流の拡大と、人材育成などグローバル化への対応による多文化共生の促進に取り組む。					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム参加大学・グループ数(累計)	88 団体	H30 年度	120 団体	R7 年度	石川県長期構想
①外国人宿泊者数	68 万人	H30 年度	100 万人	R7 年度	ほっと石川観光プラン2016
①留学生数	1,944 人	H30 年度	3,000 人	R7 年度	石川県長期構想
①ボランティア登録者数	729 人	H30 年度	800 人	R7 年度	石川県長期構想



令和元年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①世界の各地域との多様な国際交流・国際協力の推進	・友好交流地域(中国・江蘇省、韓国・全羅北道、ロシア・イルクーツク州)との多様な交流の推進 ・世界各地域との海外ネットワークの活用 ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とした新たな交流の促進
①日本語・日本文化研修生や留学生等の受入促進と参加の拡大	・石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム(IJSP)の充実 ・(独)国際交流基金と連携したプログラムの充実 ・留学生の受入促進
①多文化共生の促進	・外国人住民の参画による社会づくり
①グローバル化に対応する人材育成と活用	・青少年の海外留学等への支援 ・国際交流ボランティアの活用促進